

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	住吉区
学 校 名	大阪市立東粉浜小学校
学校長名	校長 津田 毅

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査内容

#### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

#### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

### 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東粉浜小学校では、第6学年 55 名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

調査対象となった「国語」「算数」の2教科すべて、大阪市及び全国平均よりも上回った。全国平均から6.3ポイント上回った「国語」が最も高く、「算数」は5.6ポイント上回る結果となった。出題問題における評価の観点や問題形式の分類区分を見ても、すべての内容・観点において大阪府・全国の結果を上回っており、これまでの学習の定着が伺えている。また、無回答率においては、「算数」で3問、全国平均に比べて高い結果だったものの、その他は全て大阪市及び全国平均よりも下回った。児童質問紙における回答時間の質問についても、「国語」「算数」とともに余裕をもって解答をすることができたと感じた児童が多かったことや、「好きである」「学習が大切である」「理解している」という質問事項で大阪市及び全国平均を上回っている結果であった。

## 分析から見えてきた成果・課題

### 教科に関する調査より

〔国語〕「読むこと」の分野では、全国平均よりも7.5ポイント上回っている。人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果も考えたりしながら、自分の考えをまとめることができていた。また、問題形式でいうと記述式でも正答率が高く、日ごろから書く力が身につけているといえる。「話すこと・聞くこと」では全国平均よりわずかに下回った。児童が目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現をくふうできるように、体験的な学習を取り入れた、系統的かつ継続的に学習する工夫を取り入れていく必要がある。

〔算数〕積極的に練習問題に取り組む成果が全ての領域で全国平均よりも上回る結果となった。特に「変化と関係」では、全国平均よりも10ポイント近く上回っている。「数と計算」の項目の正答率においては、全国平均とほとんど変わらず基礎基本の学力はついているが、問題場面の数量を立式したり、除法を解いたりすることなどにやや課題が見られる。一層正答率が上がるように、ティームティーチングを行ったり、一人一台端末を活用したりしながら、個別最適な学び、協働的な学びのにむけた指導法の工夫が必要である。

### 質問調査より

「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対しての肯定的な回答がそれぞれ90%をこえ、自己有用感が高いことがわかる。また、「自分には、よいところがありますか」という質問に対しても、85%を超えることができ、自尊感情が高いともいえる。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問に対しての肯定的な回答が全国平均よりも高い。また、学校が休みの日や平日の学校の授業時間以外に3時間以上勉強をしている児童の割合も高く、全国平均と比べ家庭での学習も積極的に行っていることがわかった。今後としては、いじめ（いのち）について考える機会を継続して行ったり、授業で、ICT機器を活用したキャリア教育の充実に向けた授業の実践を行ったりしながら、安全・安心な教育の推進の実現に向けて一層取り組みを行う必要がある。

## 今後の取組(アクションプラン)

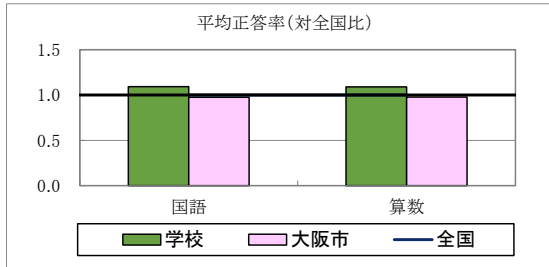
自己肯定感、自己有用感を培うために昨年度に引き続き取り組んでいる縦割り班活動を充実化させ、自他ともに認め合い、支え合うことができる環境づくりを今後も進めていく。また、探求読解プロジェクトや本物との体験を通してキャリア教育も充実させていく。

表現力の育成においては、引き続き、一人一台端末を活用した授業を一層推進していきながら、授業研究を積み重ね、児童自らが考えを表現する言語活動を工夫していく。「算数」「理科」では教科担任制を活用し、学級担任と連携を図りながら、学習の基盤となる資質・能力を育てていく。そのためにも、教科等間のつながりを意識した、教科横断的な視点に立って育成をしていく。また、どの教科でも、児童が自分の考えや思いを伝え合う交流の場や、児童が学習したことを振り返る場を設定し、児童の特性に応じたきめ細やかな指導の実践をめざす。今後も、積極的にICT機器を活用した授業を展開していき、児童の情報活用能力や情報モラルの育成を行うとともに、個別最適な学び、協働的な学びの一体的な充実に向けて実践を継続して進めていきたい。

## 【 全体の概要 】

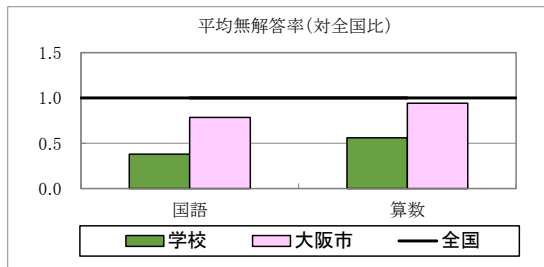
### 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	74	69
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



### 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.6	1.9
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



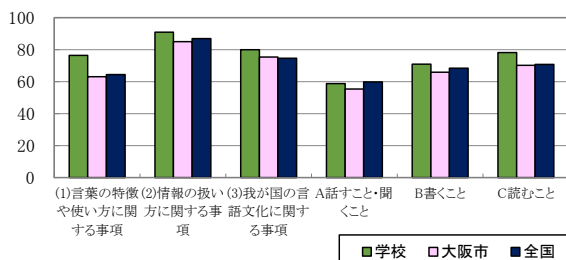
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	76.4	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	90.9	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	80.0	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	58.8	55.3	59.8
B 書くこと	2	70.9	65.9	68.4
C 読むこと	3	78.2	70.1	70.7

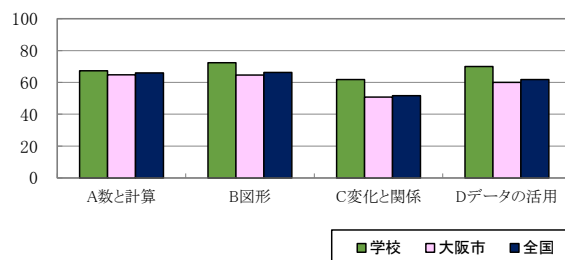
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	67.3	64.8	66.0
B 図形	4	72.3	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	61.8	50.8	51.7
D データの活用	4	70.0	60.0	61.8

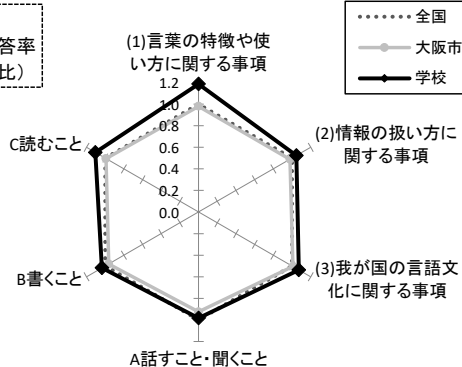
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



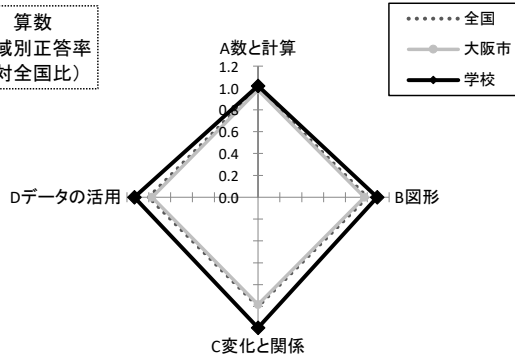
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)



算数  
領域別正答率  
(対全国比)



## 児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

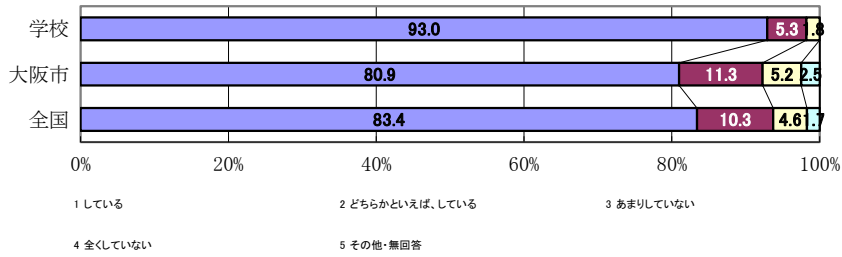
4

5

6

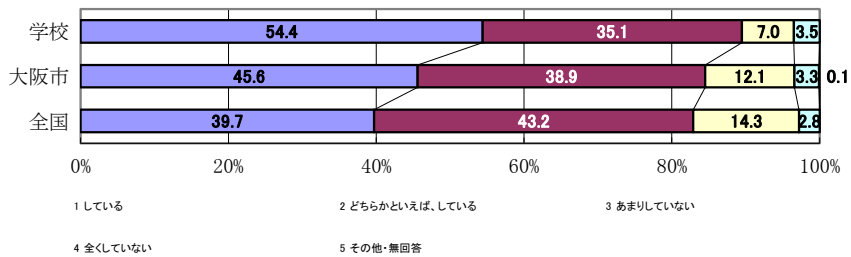
7

8



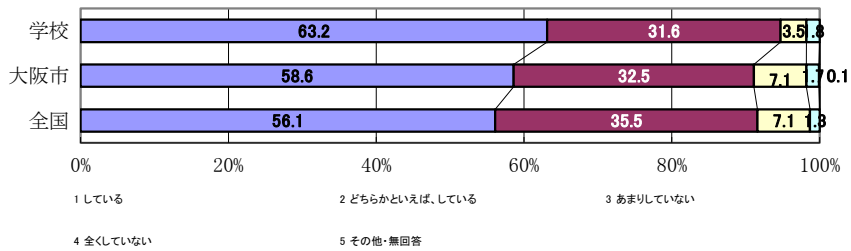
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



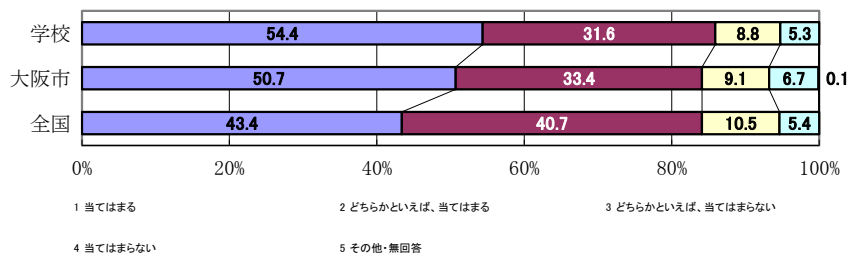
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



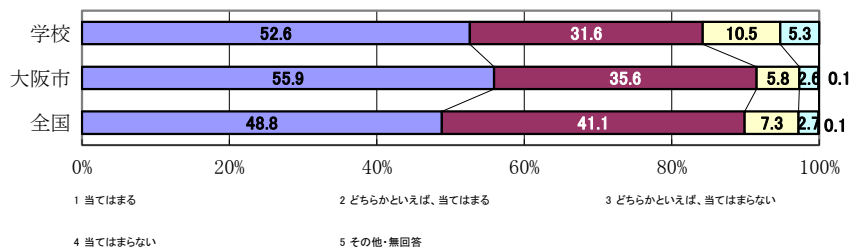
9

自分には、よいところがあると思いますか



10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



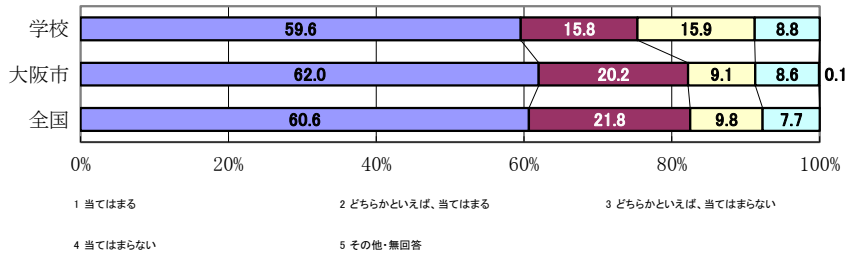
## 児童質問より

質問番号

質問事項

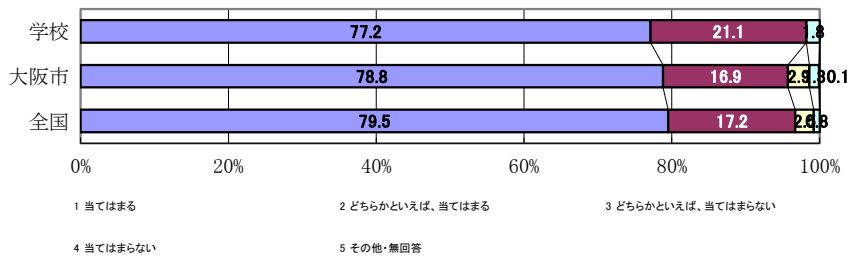
11

将来の夢や目標を持っていますか



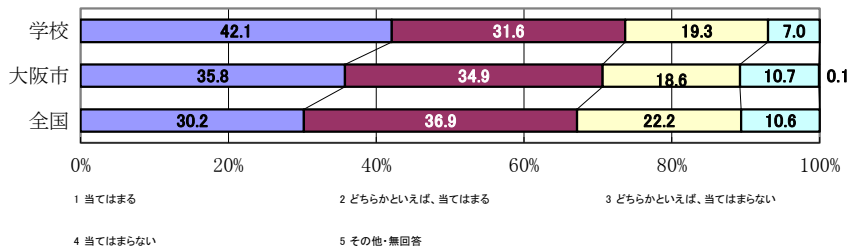
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



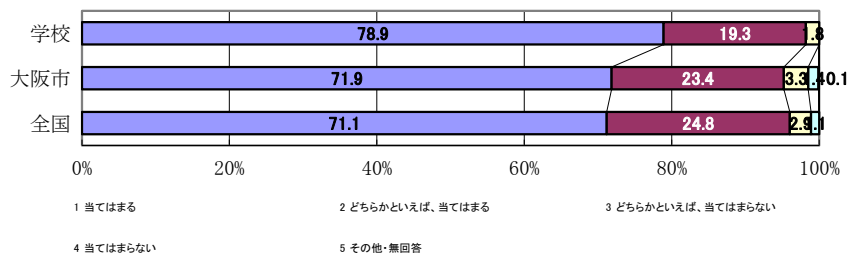
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



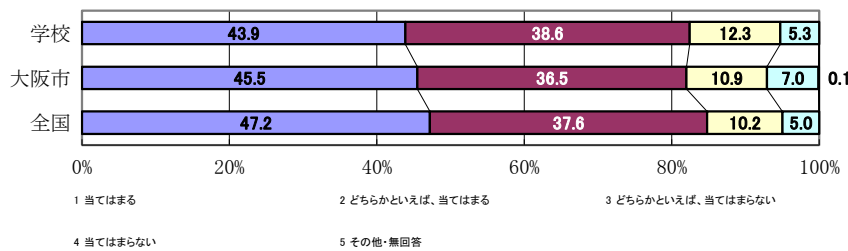
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



16

学校に行くのは楽しいと思いますか



## 児童質問より

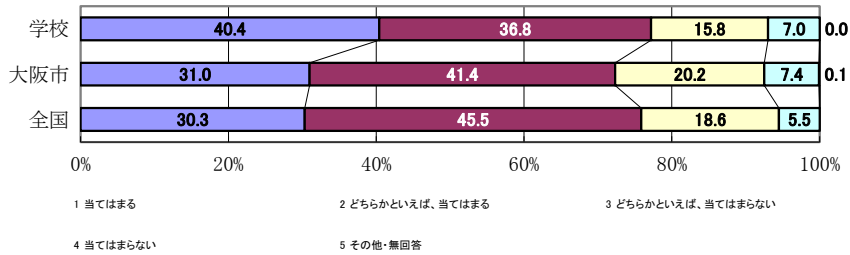
質問番号

質問事項

17

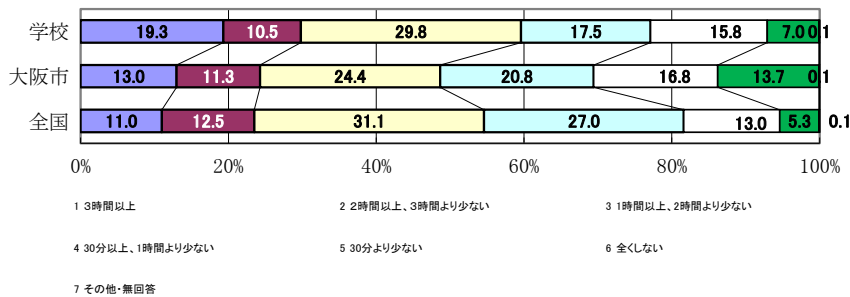
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



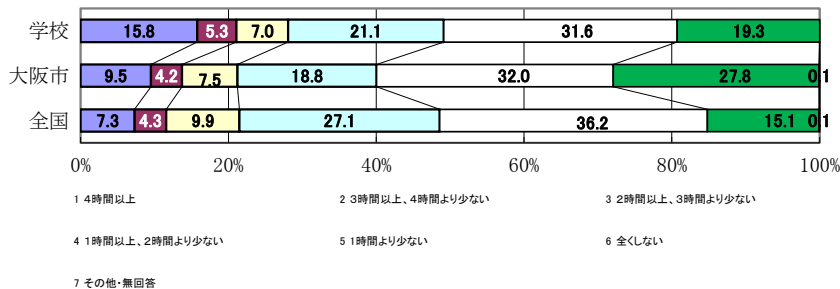
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



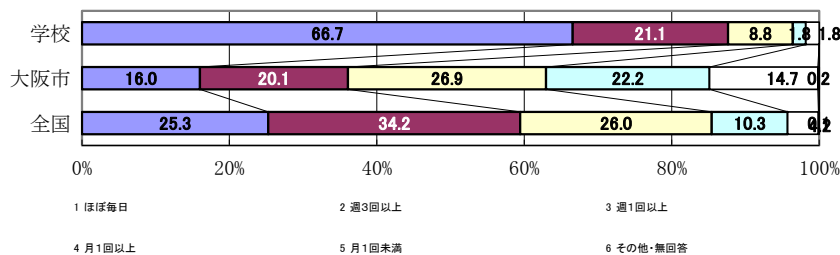
22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



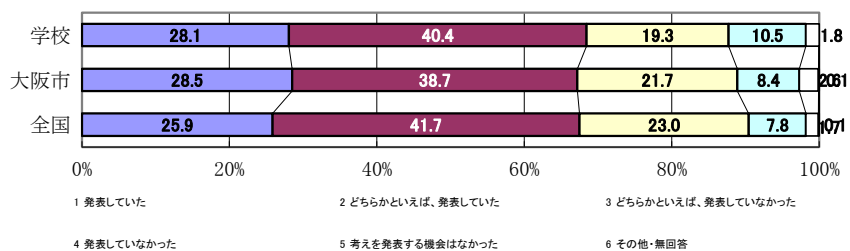
27

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



29

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



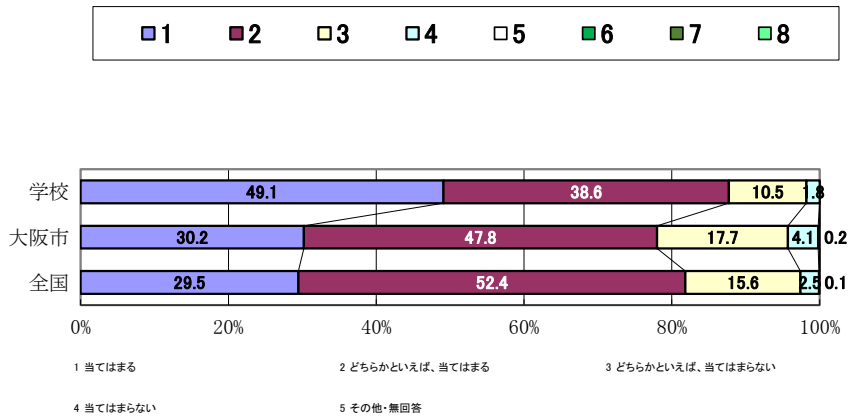
## 児童質問より

質問番号

質問事項

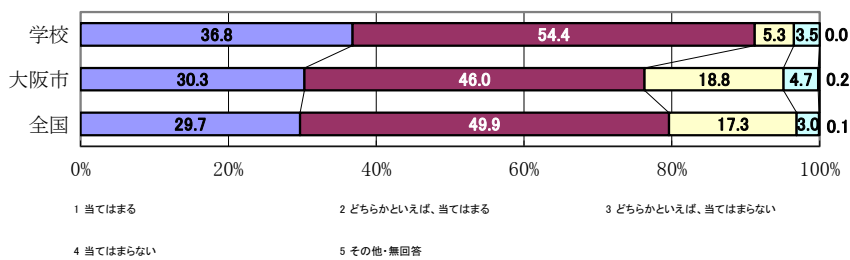
30

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



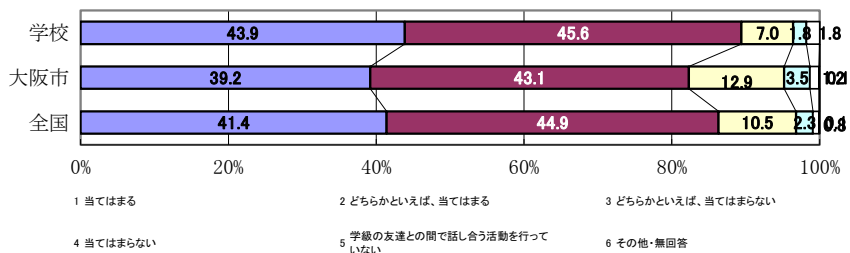
31

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



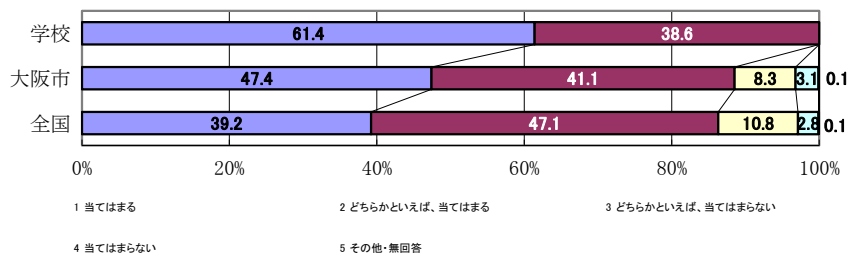
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



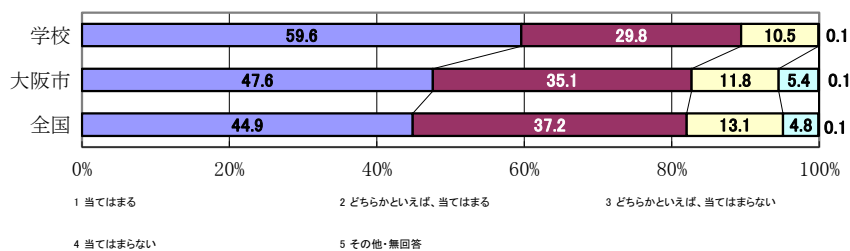
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



52

算数の授業の内容はよく分かりますか

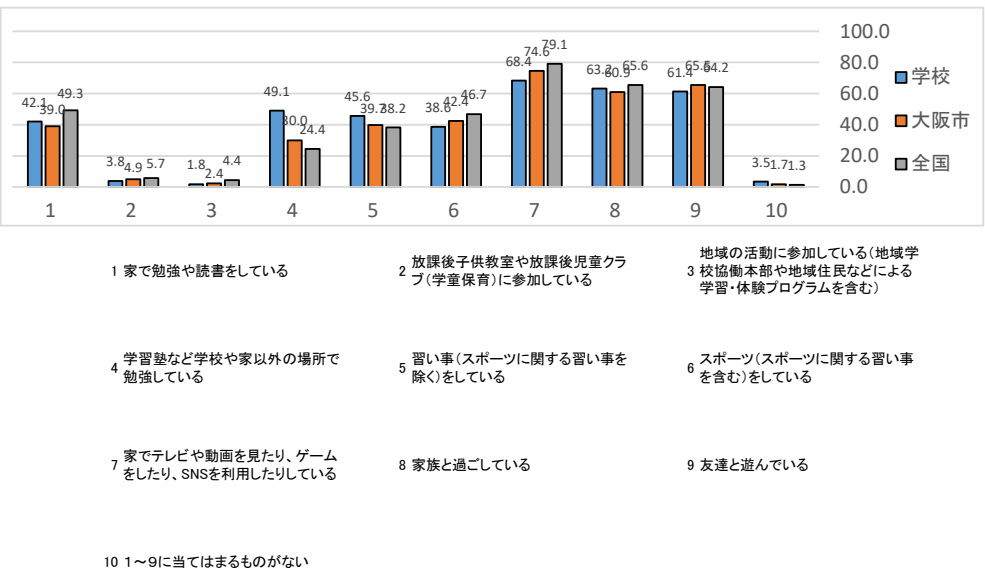


児童質問より(26)

質問番号  
質問事項

26

放課後や週末に何をして  
過ごすことが多いですか  
(複数選択)



## 学校質問より

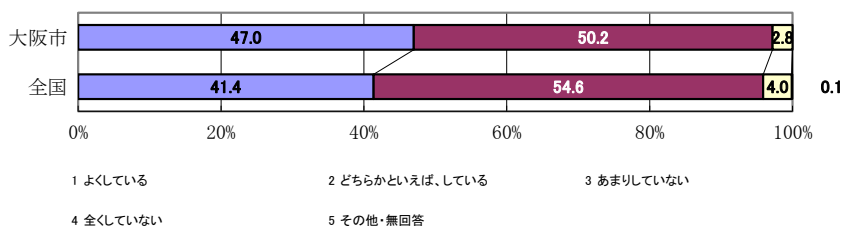
質問番号

質問事項

15

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

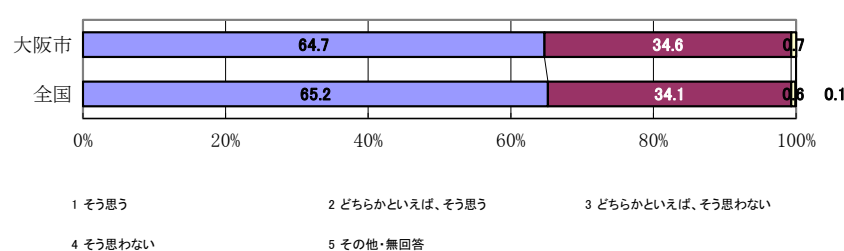
学校 「よくしている」を選択



20

学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか

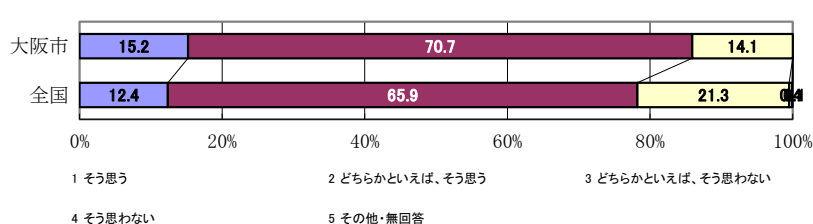
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

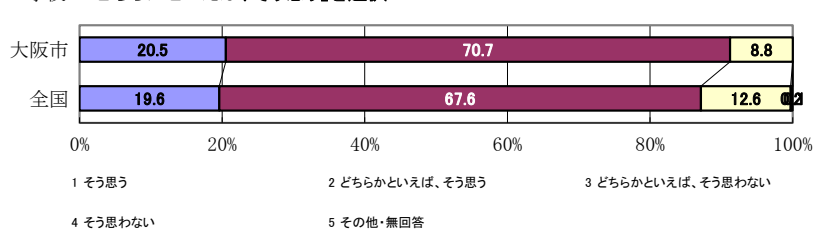
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

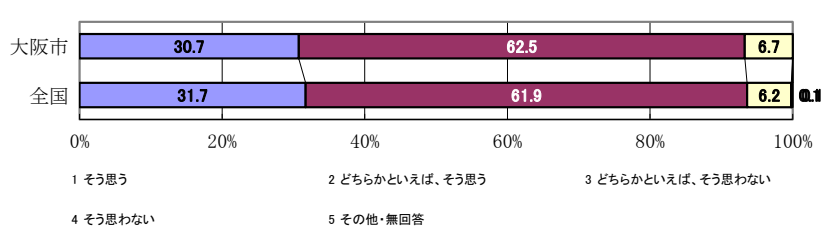
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



## 学校質問より

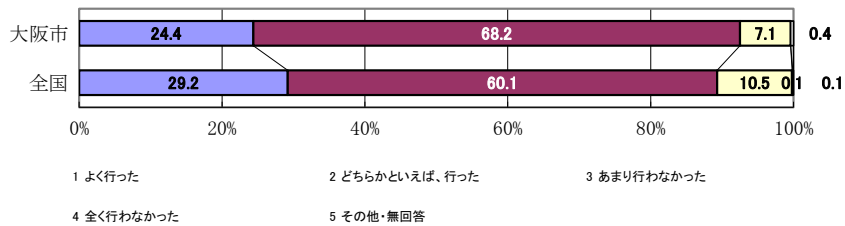
質問番号

質問事項

33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

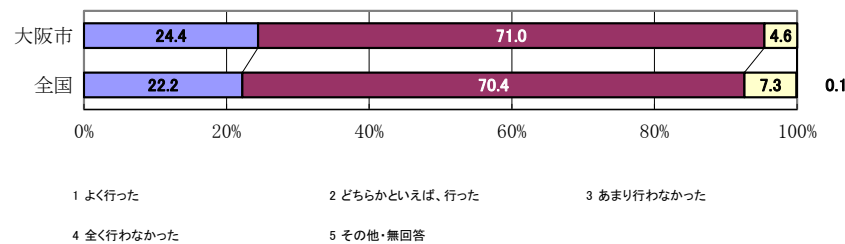
学校 「よく行った」を選択



42

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか

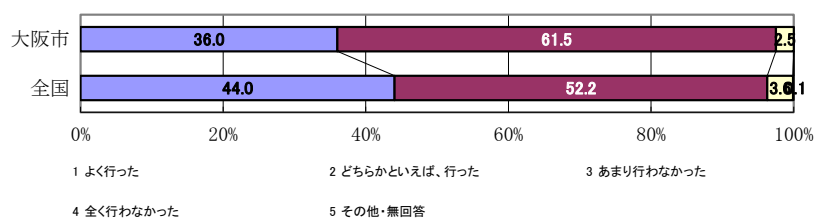
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

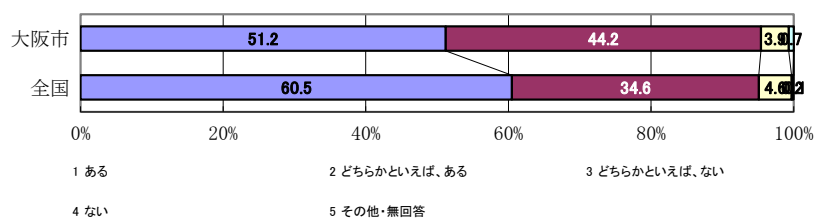
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



54

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

学校 「ある」を選択



60

調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「ほぼ毎日」を選択

